

今朝、変わったことがありました。地面が揺れたのを感じた人、手を挙げて下さい。結構いるね。気がつかなかった人。多いね。先生たちも、職員室にいました。そのときに、横揺れといって横にグラグラ大きく揺れました。壁に掛かっている黒板が目に見えるくらい大きく揺れていました。先生は、そのときに、7年前のことを思い出しました。高学年の子たちも小さかったから覚えていないかも知れませんが、3・11と呼ばれている、東北地方で起きた大きな地震です。たくさんの方が亡くなりました。そのとき、地震も大きかったのですが、津波といって、10mを越える大きな波が打ち寄せてきて、人や建物が流されて、たくさんの方が命を落とすという大きな災害があったんです。大人も子どもも、たくさんの方が犠牲になって、とても悲しい出来事でした。先生もテレビで見ていたのですが、本当に怖いなと思いました。人間ってなんてちっぽけんんだろうと思いました。立ち向かいようがないなと思いました。やはり、逃げるしかないとも思いました。この地方にも、大きな地震がいつ来るかわからないと思います。大事なことは、すばやく判断して逃げる、避難することだと思います。また避難の時に、どこに、どんな風に避難すればいいか、君たち自身が知っておくことが大切です。大きい子はもちろんですが、小さい子も自分でどんな風に逃げるか知っておく必要があります。学校でも避難訓練をします。訓練で学ぶことをよく覚えておいて下さい。そして「自分の身を守る」ということを頭に置いて生活して下さい。